

世界の社会起業家100人・中国汚染食品

ニュースウィーク 日本版

400円

久留原雅典  
アメリカはこう見る

# Newsweek

<http://nwj-web.jp>



## 世界を変える 社会起業家

# 100

ノーベル平和賞グラミン銀行に続け  
社会貢献で稼ぐビジネスリーダー100人

2007  
7.18

## ASIA &amp; OCEANIA

## 78. Masayoshi Ogawa

小川雅由(日本、環境)

98年設立の「こども環境活動支援協会」(兵庫県西宮市)事務局長。市や企業と連携して「エコカード」システム(環境にいいことをした子供のカードにスタンプを押し、一定の数を集まると「アースレンジャー」に認定する)を開発。53歳。  
http://leaf.or.jp

## 79. Narayana Peesapaty

ナラヤナ・ピーサパティ(インド、環境)

「食べられる」ナイフやフォークを販売するBKエンバイロメンタル・イノベーションズ社を共同創業。モロコシ粉などを原料としており、プラスチックに代わるエコな製品として期待される。  
http://www.new-ventures.org/arquivos/rv34-bk.pdf

## 80. Vineet Rai

ビネット・ライ(インド、金融)

インド経済の下落を支える中小企業を活性化するため、小口の株式による資金調達を支援するファンド「アビッシュカール」を共同創設。マイクロファイナンスによる融資では少額すぎて十分な資金を得られない企業のニーズを埋める。36歳。  
http://www.aavishkaar.org/



## 81. Bunker Roy

バンカー・ロイ(インド、教育)

インドで最も美しいラジャスタン州にある「ペアフト・カレッジ(はだしの大学)」の創設者。質素な人たちに、飲料水用ハンドポンプや太陽光発電など実用的な技術を教える。62歳。  
http://www.barefootcollege.org

## 82. Han Shigong

韓士恭(ハン・シーゴン)(中国、貧困)

山西省の石炭企業トップ。05年12月、農民を対象にしたマイクロファイナンスを行う「晋源郷小額貸付社」を同省に設立。設立後1年間で融資総額約3000万元(4億5000万円)、期限内返還率100%、不良債権率0%を達成。  
※関連URLなし

## 83. Jack Sim

ジャック・シム(シンガポール、衛生)

世界の多くの人が今も十分な衛生環境にない状況を改善するため、各国のトイレ協会を連携させる「世界トイレ機構(WTO)」を設立。毎年トイレサミットなどを開催する。トイレのデザインや管理法を指導する世界トイレ大学も設立。  
http://www.worldtoilet.org

## 72. Nic Frances

ニック・フランセス(オーストラリア、環境)

消費者に節電ランプや節水シャワーヘッドを無償で提供し、削減した二酸化炭素を排出権として売買するイージー・ビーイング・グリーン社を設立。今年、地球の冷却化とエネルギー効率化をめざすクールエナジー社を立ち上げた。45歳。  
http://www.cooling.com

## 73. Coosje Hoogendoorn

コースイェ・ホーヘンドールン(中国、貧困)

普通の樹木より成長の速い竹や藤の安定供給と、住宅建材などへの活用促進をめざす「国際竹藤組織」(本部・北京)の事務局長。建材用の竹の生産を奨励することで、タンザニアの貧困家庭に経済的自立を促すプロジェクトなどに取り組んでいる。  
http://www.inbar.int

## 74. Bambang Ismawan

バンバン・イスマワン

(インドネシア、地域開発)

地方の開発援助を行う「ピナ・スワダヤ」会長。マイクロファイナンスや農業開発、エコツーリズムなどを実施。農業関連の情報を提供し、6万部以上を販売する雑誌を発行する出版社や農産物を販売するフランチャイズ事業も展開する。  
http://www.binaswada.com

## 75. Toshinori Kawada

川田利典(日本、外資)

日本に住む外国人が借りられる物件は限られており、契約条件も日本人より悪い。この問題を解決するため、外国人専用の不動産会社「テラ」を06年に設立。外国人の部屋探しを手伝うだけでなく、トラブル防止など家主側もサポートする。23歳。  
http://www.the-you.com

## 76. Ben Keene

ベン・キーン(フィジー、地域開発)

インターネットで参加者達がアイデアをもち寄り、環境に配慮した理想のコミュニティをつくるプロジェクト「トライブ・ウォンテッド」を開始。フィジーのボラボラ島でそのコミュニティを実際に作るプロジェクト「トライブ・ウォンテッド」も手がける。学校を造るなど、島民への支援も行う。27歳。  
http://www.tribewanted.com

## 77. Anil Kitracar

アニル・キトラカー(ネパール、伝統文化)

世界遺産に指定されているカトマンズでも、伝統文化や景観の維持を担う職人たちの生活は厳しくなるばかり。彼らが作る宝飾品や陶器をオンライン販売するクラフトド・イン・カトマンズ社を創業し、職人の収入を安定させる。職人が店舗を開くための少額融資も行う。  
http://www.craftedinkatmandu.com

## 67. Fazle Hasan Abed

ファズレ・ハサン・アベド

(バングラデシュ、貧困)

貧困層に金融や医療、教育などのサービスを包括的に提供するNGO「BRAC」を創設。約9万人を雇用し、推定1億人を支援してきた。アフガニスタンやスリランカにも活動を広げ、大学や銀行などの関連組織をもつ。  
http://www.brac.net



## 68. Anita Ahuja

アニタ・アフジャ(インド、貧困)

スラム街の貧困層が集めたビニール袋を再生し、おしゃれなバッグを作るNGO「コンサーブ」を夫と設立。ロンドンやニューヨークで人気を集め、収益の出る事業に。  
http://www.conserveindia.org

## 69. Vikram Akula

ビクラム・アクラ(インド、貧困)

インドで98年にマイクロファイナンス会社SKSを設立。SKSは借り入れ情報を記入した「スマートカード」を使って顧客情報を管理。コスト削減を実現し、貸し倒れ率も2%以下に抑えた。貸し出し総額は5200万ドルに達する。  
http://www.sksindia.com

## 70. Jeroo Billimoria

ジェルー・ビルモリア(インド、児童)

虐待されたり貧困にあえぐ子供たちを救うため、95年に24時間無料のホットライン「チャイルドライン」を創設。03年にはチャイルド・ヘルプライン・インターナショナルを設立し、現在、150か国以上で子供たちの声に耳を傾ける。42歳。  
http://www.childlineindia.org.in

## 71. Kazuyoshi Fujita

藤田和芳(日本、農業)

有機・無農薬野菜や無添加食品を会員に宅配する「大地を守る会」を77年に設立。生産者と消費者とのパイプをつなぎ、安心して食べられる食品を提供する。06年までに生産者側の会員は2500、消費者会員は7万2000人にまで成長した。60歳。  
http://www.daichi.or.jp

FROM TOP: RAFIQAR RAHMAN-REUTERS, COURTESY VINEET RAI

### 95. Natalie Killassy

**ナタリー・カラシー**(南アフリカ、障害者)  
炭鉱労働で障害を負った人々を雇用するスティッチ・ワイズ社を96年に共同で起業。炭鉱労働者の作業用品や道具を専門に販売する。  
<http://www.stitchwise.co.za>

### 96. Nick Moon

**ニック・ムーン**(アフリカ、貧困)  
「キックスター」の共同創設者。ケニアをはじめとするアフリカ各国で農業などの実現可能な小規模事業に100~1000ドルを出資し、地域経済での自立を支援する。事業に必要な機材のデザインなども行う。52歳。  
<http://www.kickstart.org>



### 97. Murphy Morobe

**マーフィー・モロベ**(南アフリカ、地域開発)  
ヨハネスブルグ・ハウジング社取締役。犯罪の多いヨハネスブルグの中心街で、安全で質の高い住居を賃貸する。すたれたオフィスやホテルを住居として再生させることで、街のイメージ向上をめざす。  
<http://www.jhc.co.za>

### 98. Chris Page

**クリス・ページ**(ルワンダ、児童)  
ルワンダ人アーティストの協力で、「カード・フロム・アフリカ」を04年に設立。リサイクル紙からオリジナルのはがきを作成、販売する。ルワンダの孤児を雇用し支援している。  
<http://www.cardsfromafrica.com>

### 99. Soraya Salti

**ソラヤ・サルティ**(ヨルダン、教育)  
アラブの学生に職や経済に関する講義・体験学習の場を提供する組織「RIJAZ」の地区責任者。99年設立。ヨルダンのほかレバノン、エジプトなどの学生計10万人が毎年さまざまなプログラムに参加している。  
<http://www.rijaz.org.jo>

### 100. Yuval Wagner

**ユバル・ワグナー**(イスラエル、障害者)  
同国の空軍兵時代にヘリコプターが墜落して四肢麻痺に。99年、障害者をもっと外出しやすくなるように「アクセス・イスラエル」を設立。障害者のための情報をネットで提供するほか、彼らの雇用の推進、旅行企画などを行う。42歳。  
<http://www.aIsrael.org>

### 90. Tomoji Yokoishi

**横石知二**(日本、高齢者)  
過疎高齢化が進む徳島県上勝町で、落ち葉を利用して料理に添える「つまもの」を作る「いろどり」を起した。生産の中心となっているのは70~80歳の高齢の女性たち。彼女たちに生きがいを与え、地域活性化にも貢献。出荷先は全国に広がり、年産は2億円を超え、町の主力産業に成長した。48歳。  
<http://www.irodui.co.jp>

### 91. Roshaneh Zafar

**ロシャネ・ザファル**(パキスタン、貧困)  
グラミン銀行に影響され、貧しい女性に無担保でマイクロファイナンスを提供するキャッシュ財団を設立。少額で入れる生命保険の販売や預金の受け入れも行っている。これまでに少なくとも6万人以上が同財団の恩恵を受けた。  
<http://www.kashf.org>



### 92. Mohamed Abou El Naga

**ムハンマド アブ・ナガー**(エジプト、雇用)  
「エル・ナフェザ・センター」を設立。首都カイロの古くからある地区で、バナナやハスの葉、稲わらなど利用されることのない農産物から紙を作り、アーティストたちの自己表現を支援。同センターは女性や若者に技術を教入、雇用を促進する役目も果たしている。47歳。  
<http://www.elnafza.com>

### 93. Vinah Ganoo

**ヴィナア・ガノー**(モーリシャス、貧困・環境)  
82年に「フローラ・マーケティング」を設立。貧困に苦しむ地域の人々から熱帯性植物の種を買い取り、30か国以上へ輸出している。残った種は植林に活用する。40歳。  
<http://www.flora.mu>

### 94. Garth Japhet

**ガース・ジャフェット**(南アフリカ、教育)  
テレビ・ラジオ番組を制作するNGO「ソウル・シティ」を設立。ドラマを通じて、子供から大人まで幅広い層にエイズや性問題、開発課題を訴える。44歳。  
<http://www.soulcity.org.za>

### 84. Pierre Tami

**ピエール・タミ**(カンボジア、貧困)  
94年に妻とともに貧困女性や子供を支援する「ヘーガー」を設立。売春などで生計を立てる貧しい女性に対して職業訓練を行い、自立を支援している。  
<http://www.hagarproject.org>

### 85. Wu Daohong

**呉道洪(ウー・タオホン)**(中国、環境)  
石炭など化石燃料の使用を抑え、二酸化炭素の排出量を減らす産業用製品を開発する「神龍熱能」の会長。同社の製品は、平均してエネルギー使用量を30%削減する。05年の売上高は約10億元に達した。  
<http://www.shenwu.com.cn/en>

### 86. Wu Hao

**呉昊(ウー・ハオ)**(中国、環境)  
水を使わずに小便を処理する環境にやさしいトイレを開発・販売する「藍潔士」を8年前に起業。過去5年間で売り上げを倍増させるなど、業績も伸びている。  
<http://www.landwasher.com>

### 87. Wu Qing

**呉青(ウー・チン)**(中国、女性)  
農村婦人の権利擁護と識字率向上をめざす組織「北京農家文化発展センター」の代表。96年に農村からの出稼ぎ女性の人権を守る組織「打工妹之家」を、98年に就業技術の習得をめざす技能教育学校を設立した。  
<http://www.nongjianv.org>

### 88. Muhammad Yunus

**ムハンマド・ユヌス**(バングラデシュ、貧困)  
貧困層のためのマイクロファイナンス事業を76年に始め、83年にグラミン銀行を設立。世界の貧困削減に向けた努力を評価され、06年にノーベル平和賞を受賞した。資金融資だけでなく、貧しい主婦に携帯電話を貸与するプロジェクトも行っている。主婦が電話のない村人にその携帯を貸して収入を得る仕組みだ。67歳。  
<http://www.grameen-info.org>



### 89. Zhao Yi

**趙翼(チャオ・イー)**(中国、農業)  
中国農業大学の学生時代から啓蒙書出版など農民支援に取り組み、06年大学院卒業と同時に茶葉の有機栽培の支援を開始。同年、茶葉の販売と有機レストラン経営を行う「北京更香有機食品有限公司」の総経理として引き抜かれる。24歳。  
<http://www.gx-tea.com>